

第 28 話 2010 年 10 月 31 日 (日)

WBC 世界スーパー・バンタム級タイトルマッチ

10 月 24 日 (日) 東京・両国国技館で開催されたエキサイトマッチスペシャル「This is BOXING」を観戦した。前職で 4 年前まで仕事を一緒にした N 氏のお嬢様が WOWOW のアナウンサーをされていて、その筋からの観戦チケットを入手され、お誘いに便乗した。

ボクシングのライブは生まれて初めてだったが、“Speed King”の異名を持つ信念の王者・西岡利晃のあの身体能力には驚いた。23 歳の西岡が地元兵庫から世界に一步踏み出したウィラポンとの初の世界タイトル戦がちょうど 10 年前だったそうだ。

後に V14 王者となるウィラポンの壁に 4 度跳ね返され、その間に左足アキレス腱断裂に襲われながらも不屈の闘志でボクシングを続け、2008 年にナパーポンから世界王座を奪って今回が 10 回目の世界戦であった。

対戦者のアンディー・ムンロー (イギリス) は世界ランク 1 位であり、西岡にとっては初めてのサウスポーである。ムンローのニックネームは「ボクシングのピンマン (廃品回収業)」。ムンローのもう一つの職業であり、「働かなくてもいいが足を地につけていることを意識したい」「ボクサーとして知られるようになったが、今もブルーカラー (労働者階級) に属していることを確認したいから」と語っているそうだ。

試合は 12 ラウンドまで目が離せない凄い試合だったが、素人の私が見ても終始、西岡の優勢だった。西岡は挑戦者のムンローが打たれても、打たれても前に出てくるところを軽快なフットワークで交わしながら、時折り左のフィニッシュブローを繰り返す。それが的確に命中するのである。

西岡の奥さんや娘さんのことが彼のボクシングの糧になっていることは有名な話であるが、世界戦を戦い続ける不屈の精神はどこから醸成されるのだろうか？



話題を変えよう。今日 (10/31) 午前、2010 年の目標の一つであった PMI (プロジェクトマネジメント協会) 日本支部組織成熟度研究会の発表を学術総合センターで開催された PMI Forum 2010 で実施した。以下に URL を記録しておきたい。

http://www.pmi-japanforum.org/pmi/forum-2010/OPM_PMikusei.html#f-1

発表のあと、研究会の座長である池田さんと学術会館のレストランで食事をし、午後はゆったりした気分で、愛宕山の東京美術倶楽部で開催中の大刀剣市を見に出かけた。会場で岐阜関の濃州堂さんの田中順子取締役とお会いすることができた。来年春には My Sword をお願いしよう! (<http://www.zentosho.com/daitoichi.html>)

つづく